



事業報告

(2019年4月10日から2020年3月31日)

1. 一般社団法人TOKAI RUGBY CLUB (以下TRC) TRCの現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当法人は、東海大学ラグビー部が目指す「大学日本一」をサポートするだけでなく、ラグビー競技の発展、地域の一員としての社会貢献を目指す法人として4月10日に設立をいたしました。

会員運営事業につきましては、会員獲得管理体制の整備を図るため、MIカードとの提携を行うことに努めてまいりました。また、より多くのラグビーファンならびに地域住民、OB・OG会員への普及を目的として、ホームページの開設準備に取り組んでまいりました。

イベント運営事業においては、OB・OG会と連携して丹沢祭を主宰し、地域のラグスクールや保護者の方々との交流を深めることを実施してまいりました。また、12月には平塚市商工会議所主催の「東海大学ラグビー部大学選手権激励会」を支援し、多くの平塚市民との交流を図りTRCの認知度向上を図ることができました。

しかしながら本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響がおよび、会員の獲得募集システムの完成が次年度に繰り越されたことにより、賛助会員ならびにOB・OG、保護者会員の公募ができなかったことが大きく影響し、収入は当初予算の64.1%の29.5万円余となりました。

一方経常費用におきましては、法人登記費用、ならびに設立に関する費用を含め59.9万円余となりました。その結果、当期経常増減額ならびに一般正味財産期末残高は30.4万円余のマイナスとなりました。

(2) 対処すべき課題

2020年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい環境が続くことが懸念されます。このようなコロナ禍の中で「東海大学ラグビー部のサポート」を安全安心の徹底を方針に取り組んでいきたいと思っております。

①会員運営事業においては、獲得システムをできるだけ早く整備、ローンチしてまいります。より多くのラグビーファンならびに地域住民、OB・OG会員の利便性、快適性の向上を図り健全な運営に努めてまいります。

②イベント運営事業においては「東海大学ラグビー部」との連携を図り、地域のラグスクールや保護者の方々との良好なコミュニケーションを深め、多くの関係者と一体となり、広くご満足いただけるような法人にするために優先順位をつけながらハードソフト両面から取り組みます。

③プロダクト事業においては、独自性を考慮しつつ、会員の変化に対応するため新たな仕組みへの取り組みを強化して営業成果に結びつけます。

④指導・育成事業におきましては「大学ラグビー部と連携を取り、地域ラグビースクールとの情報交換や協力により「ジュニアチーム」発足を実現に努めます。

(3) 従業員の状況(2020年3月31日現在)

人数	役職・氏名
1	代表理事 近藤 洋
2	理事 小笠原 正彦
3	理事 今村 佳宏
4	理事 志村 英明
5	理事 前田 殊告
6	事務局 渡部 寛

上記6名



(4) 貸借対照表について

貸借対照表

一般社団法人 TOKAI RUGBY CLUB

令和 2年 3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
[資 産 の 部]			
【 流 動 資 産 】			
現 金 預 金	50,103		
流 動 資 産 合 計	50,103		
資 産 合 計	50,103		
[負 債 の 部]			
【 流 動 負 債 】			
未 払 金	155,000		
短 期 借 入 金	200,000		
流 動 負 債 合 計	355,000		
負 債 合 計	355,000		
[正 味 財 産 の 部]			
【 一 般 正 味 財 産 】			
そ の 他 一 般 正 味 財 産	△ 304,897		
一 般 正 味 財 産 合 計	△ 304,897		
正 味 財 産 合 計	△ 304,897		
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	50,103		



財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類及びその附属明細書に作成基準
一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権等は償却原価法(定額法)とする。
上記以外の有価証券で時価のあるものは決算日の市場価格に基づく時価法とする。
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
取得価額をもって貸借対照表価額とする。
ただし、時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。
- (4) 固定資産の計上基準と減価償却の方法
 - ①. 計上基準
耐用年数が1年以上で取得価額が10万円以上のものとする。
 - ②. 減価償却の方法
固定資産の減価償却の方法は、定額法とする。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理とする。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式とする。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、預り金及び前受金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	0	8,408
みずほ銀行	0	1,000
三菱UFJ	0	40,695
合 計	0	50,103
未払金	0	155,000
合 計	0	155,000
次期繰越収支差額	0	-104,897



正味財産増減計算書

一般社団法人 TOKAI RUGBY CLUB

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
[一般正味財産増減の部]			
[経常増減の部]			
[経 常 収 益]			
【受取入会金】			
受 取 入 会 金	300,000	200,000	100,000
【受取会費】			
正 会 員 受 取 会 費	60,000	30,000	30,000
【受取負担金】			
受 取 負 担 金	100,000	65,000	35,000
経 常 収 益 計	460,000	295,000	165,000
[経 常 費 用]			
【 管 理 費 】			
会 議 費	150,000	110,000	40,000
通 信 運 搬 費	10,000	560	9,440
消 耗 品 費	100,000	52,952	47,048
印 刷 製 本 費	100,000	55,000	45,000
手 数 料	10,000	2,512	7,488
報 酬	400,000	265,823	134,177
租 税 公 課	150,000	113,050	36,950
経 常 費 用 計	920,000	599,897	320,103
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103
当期経常増減額	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103
税引前当期一般正味財産増減額	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103
当期一般正味財産増減額	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103
一般正味財産期末残高	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103
正味財産期末残高	△ 460,000	△ 304,897	△ 155,103



(5) 2020年度収支予算について

収支予算書

一般社団法人 TOKAI RUGBY CLUB

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日 (単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
[事業活動収支の部]				
[事業活動収入]				
【入金金収入】				
入 会 金 収 入	0	300,000	△ 300,000	
【会費収入】				
正会員会費収入	0	60,000	△ 60,000	
【負担金収入】				
負 担 金 収 入	0	100,000	△ 100,000	
事業活動収入計	0	460,000	△ 460,000	
[事業活動支出]				
【管理費支出】				
会 議 費 支 出	0	150,000	△ 150,000	
通 信 運 搬 費 支 出	0	10,000	△ 10,000	
消 耗 品 費 支 出	0	100,000	△ 100,000	
印 刷 製 本 費 支 出	0	100,000	△ 100,000	
手 数 料 支 出	0	10,000	△ 10,000	
報 酬 支 出	0	400,000	△ 400,000	
租 税 公 課 支 出	0	150,000	△ 150,000	
事業活動支出計	0	920,000	△ 920,000	
事業活動収支差額	0	△ 460,000	460,000	
[財務活動収支の部]				
[財務活動収入]				
【借入金収入】				
短 期 借 入 金 収 入	0	500,000	△ 500,000	
財務活動収入計	0	500,000	△ 500,000	
財務活動収支差額	0	500,000	△ 500,000	
当期収支差額	0	40,000	△ 40,000	
次期繰越収支差額	0	40,000	△ 40,000	



(6) 監査報告について

監査報告書

一般社団法人 TOKAI RUGBY CLUB

代表理事 近藤 洋

一般社団法人 TOKAI RUGBY CLUB

監事

東京都

直井 亮 

私は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第1期事業年度の業務執行

状況、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、

適法かつ正確であることを認めます。

